



北川 広人 議員

### 市長の施政方針について

**問** 平成26年度当初予算を編成するにあたり、市長の意気込みと予算編成に対する評価は。

**答** 予算は、「高浜市の今をアシタにつなぐスタート予算」と位置付け、「中期基本計画の着実な実施」「事務事業の総点検」「重点施策への財源配分」の基本的な考え方を柱とし、基盤固めと将来投資も視野に入れて取り組んでいく。今後の財政見通しは、引き続き財源不足が見込まれ、厳しい状況が続くと判断するものの、予算規模については、平成10年度以降、最大規模を計上するとともに消費税の引き上げが行われる中、歳入の根幹をなす市税収入については、約82億3900万円と、リーマンショック前の平成20年度に次ぐ、積極的な税収を見込んでいます。歳出では、最少の経費で最大の効果が得られるよう、中期基本計画を計画的・効果的にスタート

させる予算編成と評価している。

**問** 今回の組織改正に対する市長の想いは。

**答** 高浜市総合計画中期基本計画が議会で可決されたことに伴い、この基本計画をより着実にかつスピーディーに実行するために組織体制を改正した。市民サービスの向上及び都市間競争力をつけるとともに職員力の向上を図っていく。

**問** 公共施設保全計画（案）の内容が、まだ公表されていない状況の中、市庁舎と高浜小学校の今後の方向性を示す「基本方針」が示された。保全計画（案）公表前にこの2施設の「基本方針」を示した理由は。

**答** 市庁舎は、東日本大震災以降、防災対応機能の維持の必要性の認識が高まる中、建物の耐震性能の不足と老朽化について、早急な対応が必要であることが理由。また、高浜小学校については、3つある校舎のうち、南校舎は建築後54年が経過し、北校舎についても、開放式の廊下であることもあり老朽化が進んでいる。躯体や外壁の欠落など、早急な対応が必要であることが理由。これらが公共施設保全計画（案）の取りまとめの過程における劣化調査の結果等から判断したため。



鈴木 勝彦 議員

### 防災・治水対策について

**問** 沿岸部企業の水害・地震対策について。

**答** 水害対策では、市道流作新田線の道路側溝改修工事と新田町四丁目地内の排水路の越水対策や腰落樋門を高潮に伴い閉鎖した時に、雨水を貯留できる暫定的な取り組みをしました。地震対策では、迅速に正確な緊急情報を伝えるため、同報系防災行政無線の整備や企業向け講演会の開催で地震発生直後から企業が果たす動きや自助対策を見直す機会にさせていただきました。

**問** 芳川町地内堤防補強整備について。

**答** 堤防耐震点検の結果地盤の沈下が3m程度生じるとの結果から耐震性を備えた高潮防潮堤を早急に整備する必要性があると判断されたので地盤改良が施工され、平成26年度末を目標に工事が進められています。

**問** 芳川町四丁目地内の遊水地

の今後について。

**答** 現在まで雨水調整池として機能していた遊水池も工場等の進出により一部埋め立てられ、宅地化が進み状況が変化しています。現況でも必要不可欠の施設だと考えているので遊水池の調査をしていきます。また、遊水池の所有者の(株)中野酢店より高浜市に購入していただきたいと考えている、との申し出があります。引き続き検討・協議しております。

**問** 協議内容は。

**答** 災害から市民を守ることを考え、(株)中野酢店より所有池1万5788平方メートル、貯留可能量約1万8千立方メートルを買い取る方向で検討、協議を進めさせていただきます。

**問** 明治用水中井筋改修工事の目的は。

**答** 中井筋水路流域において、都市化の進展等に伴い、水路への流出量が増加していることから、湛水被害の防止を図るため、水路の排水能力の向上を図り、流域の排水不良を解消すると共に農業経営の安定を図る目的としています。

**問** 改修により排水能力は改善されるのか。

**答** 現在の排水能力より計画では2倍以上の向上になります。